

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年8月9日(2007.8.9)

【公開番号】特開2006-22278(P2006-22278A)

【公開日】平成18年1月26日(2006.1.26)

【年通号数】公開・登録公報2006-004

【出願番号】特願2004-203661(P2004-203661)

【国際特許分類】

C 0 8 L	83/06	(2006.01)
C 0 8 K	3/36	(2006.01)
C 0 8 K	5/5415	(2006.01)
C 0 9 D	183/04	(2006.01)
C 0 9 K	3/10	(2006.01)
H 0 1 L	23/29	(2006.01)
H 0 1 L	23/31	(2006.01)

【F I】

C 0 8 L	83/06	
C 0 8 K	3/36	
C 0 8 K	5/5415	
C 0 9 D	183/04	
C 0 9 K	3/10	G
H 0 1 L	23/30	R

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月27日(2007.6.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

はじめに、本発明の室温硬化性オルガノポリシロキサン組成物について詳述する。

(A) 成分のオルガノポリシロキサンは本組成物の主剤であり、分子鎖中のケイ素原子に結合した一般式：

- X - Si(OR¹)₃

で示されるトリアルコキシシリル含有基を一分子中に2個有することを特徴とする。式中のR¹は同じかまたは異なるアルキル基もしくはアルコキシアルキル基であり、R¹のアルキル基としては、メチル基、エチル基、プロピル基が例示され、R¹のアルコキシアルキル基としては、メトキシメチル基、メトキシエチル基が例示される。また、式中のXはオキシ基またはアルキレン基であり、Xのアルキレン基としては、エチレン基、プロピレン基、ブチレン基が例示される。このようなトリアルコキシシリル含有基としては、例えば、トリメトキシシロキシ基、トリエトキシシロキシ基、ジメトキシエトキシシロキシ基、メトキシジエトキシシロキシ基、トリイソプロポキシシロキシ基、トリ(メトキシエトキシ)シロキシ基等のトリアルコキシシリル含有基；トリメトキシシリルエチル基、トリメトキシシリルプロピル基、トリエトキシシリルエチル基等のトリアルコキシシリルアルキル基が挙げられ、特に、トリメトキシシリル基、トリメトキシシリルエチル基が好ましい。このトリアルコキシシリル含有基の結合位置は特に限定されず、例えば、分子鎖末端のケイ素原子および/または分子鎖中のケイ素原子が挙げられる。特に、(A)成分は、分子鎖両末端のケイ素原子にトリアルコキシシリル含有基を有するジオルガノポリシロキサ

ンであることが好ましい。このトリアルコキシシリル含有基以外のケイ素原子に結合している基としては、メチル基、エチル基、プロピル基、ブチル基、ヘキシリル基、オクチル基、デシル基、オクタデシル基等のアルキル基；シクロペンチル基、シクロヘキシリル基等のシクロアルキル基；ビニル基、アリル基、ブテニル基、ヘキセニル基等のアルケニル基；フェニル基、トリル基、ナフチル基等のアリール基；ベンジル基、フェネチル基等のアラルキル基；クロロメチル基、3-クロロプロピル基、3,3,3-トリフルオロプロピル基等の置換もしくは非置換の一価炭化水素基が例示され、商業的に入手可能であることから、好ましくは、メチル基、フェニル基である。このオルガノポリシロキサンの分子構造は特に限定されず、例えば、直鎖状、一部分岐を有する直鎖状、分岐鎖状、環状が挙げられ、好ましくは、直鎖状である。また、この25における粘度は100~1,000,000 mPa·sの範囲内であり、好ましくは、100~100,000 mPa·sの範囲内である。これは、粘度が上記範囲の下限未満であると、組成物により形成される硬化物の機械的特性が低下する傾向があるからであり、一方、上記範囲の上限を超えると、組成物の取扱作業性が低下し、該組成物をシール剤またはポッティング剤に使用できなくなるからである。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

また、本組成物には、本発明の目的を損なわない範囲で、上記(C)成分や(E)成分以外のシリカ微粉末、沈降法シリカ、石英、炭酸カルシウム、二酸化チタン、けいそう土、アルミナ、マグネシア、酸化亜鉛、コロイド状炭酸カルシウム、カーボンブラック等の充填剤；これらをシラン化合物、シラザン化合物、あるいは低重合度シロキサンで表面処理した充填剤；その他、有機溶剤、防カビ剤、難燃剤、耐熱剤、可塑剤、チクソ性付与剤、顔料等を含有してもよい。